

追加調査の計画については、今後の調査の状況を踏まえて、必要に応じて調査を追加するなど、十分なデータが得られるように柔軟に対応していく考えであり、随時、見直していく予定です。また、現地の状況に応じて、詳細な調査位置・数量等については、変更する可能性があります。

■柏崎刈羽原子力発電所敷地近傍における追加調査

調査地点	目的	調査計画（概要）
北-2測線西方	○後谷背斜の活動性確認	・本数：10本程度 ・深さ：約50m程度
寺尾付近	○断層の位置、性状、形状等の確認	<ボーリング調査> ・本数：10本程度 ・深さ：約50m程度 <トレンチ調査> ・大きさ：ボーリング調査の結果に応じて検討
古安田層と沖積層の境界部付近	○古安田層と沖積層の境界部付近の構造確認	・本数：10本程度 ・深さ：約50m程度
長嶺・高町背斜の活動性①～④	○長嶺・高町背斜の活動性確認	<ボーリング調査> ・本数：各地点で10本程度 ・深さ：約50～150m程度 <反射法地震探査> ・探査距離：4測線それぞれで約1～2km程度

■柏崎刈羽原子力発電所敷地内における追加調査

調査地点	目的	調査計画（概要）
大湊側	○古安田層の堆積年代調査	・本数：1本程度 ・深さ：約100m程度
荒浜側	○ $\alpha$ 、 $\beta$ 断層の地下および南方への連続性確認	・本数：5本程度 ・深さ：約100～200m程度
F3立坑（大湊側）	○F3断層の活動性確認	・直径：約4m程度 ・深さ：約25m程度
V2立坑（大湊側）	○V2断層の活動性確認	・直径：約4m程度 ・深さ：約20m程度
L1立坑（大湊側）	○L1断層の活動性確認	・直径：約4m程度 ・深さ：約35m程度
F5立坑（荒浜側）	○F5断層の活動性確認	・直径：約4m程度 ・深さ：約50m程度

※立坑については、安全対策に関わる設備・施設の構築のための調査として実施していたものを活用しています。

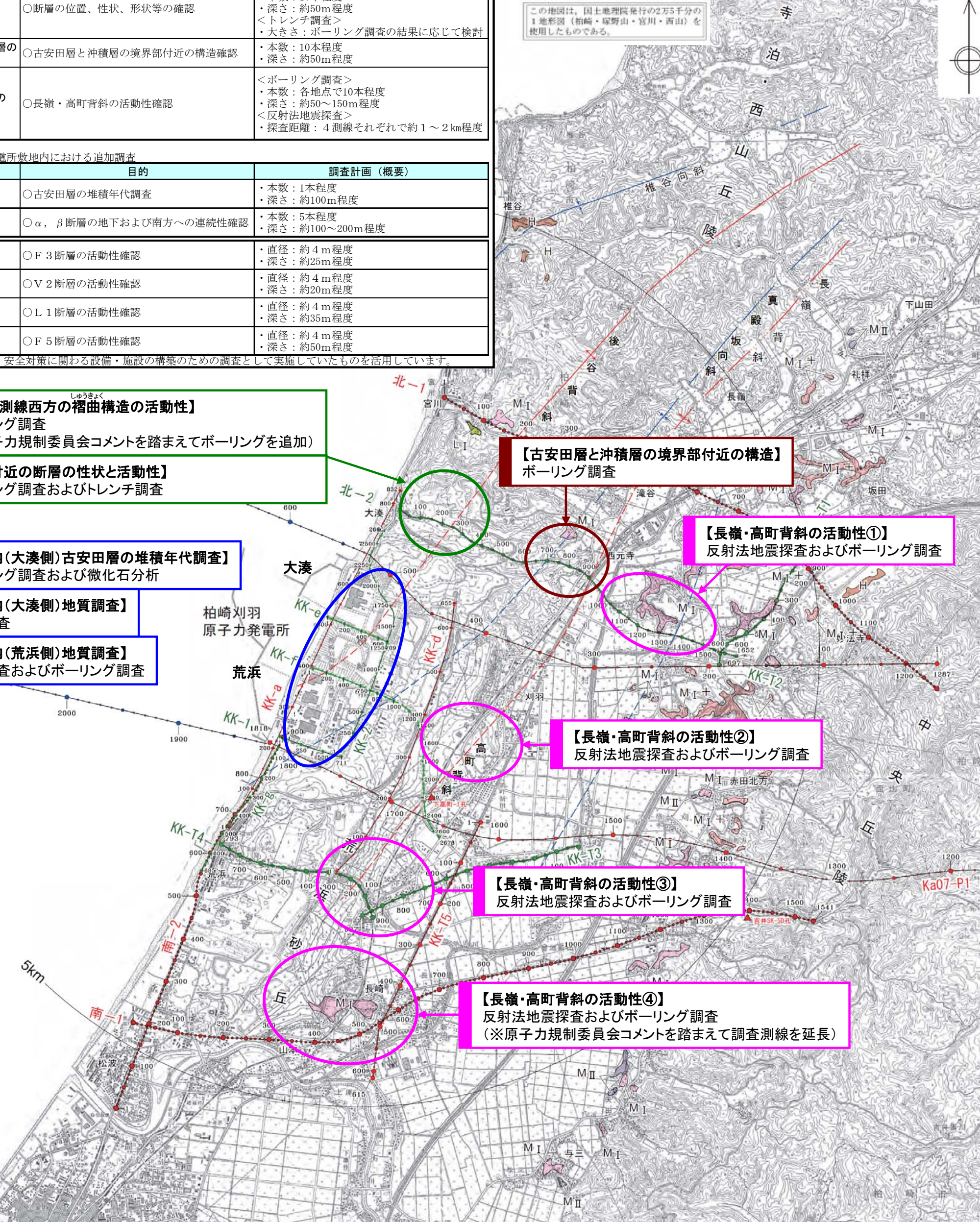
<既往調査凡例>

- 東京電力側反射法地震探査測線（パイプレーター）
- 東京電力側反射法地震探査測線（インパクト）
- 東京電力側ベイクアップ探査測線
- 石油公園ボーリング位置

<追加調査凡例>

- 調査対象箇所

この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図（柏崎・塚野山・宮川・西山）を使用したものである。



**【北-2測線西方の褶曲構造の活動性】**  
ボーリング調査  
(※原子力規制委員会コメントを踏まえてボーリングを追加)

**【寺尾付近の断層の性状と活動性】**  
ボーリング調査およびトレンチ調査

**【敷地内（大湊側）古安田層の堆積年代調査】**  
ボーリング調査および微化石分析

**【敷地内（大湊側）地質調査】**  
立坑調査

**【敷地内（荒浜側）地質調査】**  
立坑調査およびボーリング調査

**【古安田層と沖積層の境界部付近の構造】**  
ボーリング調査

**【長嶺・高町背斜の活動性①】**  
反射法地震探査およびボーリング調査

**【長嶺・高町背斜の活動性②】**  
反射法地震探査およびボーリング調査

**【長嶺・高町背斜の活動性③】**  
反射法地震探査およびボーリング調査

**【長嶺・高町背斜の活動性④】**  
反射法地震探査およびボーリング調査  
(※原子力規制委員会コメントを踏まえて調査測線を延長)